

漣標

Miotsukushi

1997年8月12日発行

No. 65

THE SHIP

大阪府青年国際交流機構

会長 松本 仁孝



今号の紙面

- H9近畿ブロック大会報告
- 近畿青年洋上大学総合事前研修報告
- H9派遣事業参加メンバー紹介
- 世界青年の船リユニオン参加報告

アンケートのお願い

「きのう・きょう・あした—足元から世界へ」

近畿ブロック大会に参加して

三宅仁美

去る7月5日(土)~6日(日)にかけて、平成9年度近畿ブロック大会が奈良県奈良市内の猿沢荘にて行われ、新旧の総務庁海外派遣事業参加者が一同に集まりました。

初日には開会式の後、グループワークとして「貿易ゲーム」が行われました。各グループに別れ、「限りある資源をどのように生かして物を作るか」という実践も踏まえた、資源の価値観を問うものでした。初めは戸惑いを見せていた参加者も、内容を把握するにつれ、次第に白熱していき、会場内は熱気が立ち込めていました。

このグループワークの前後に、昨年度の世界船、東南アジア船、航空機派遣、日中、日韓の参加者による報告会も行われ、皆熱心に耳を傾けていました。

壮行会では、お互いが事業に参加した時の様子を話したり、近況報告をしたりと、皆思い思いに語り合っていました。IYEO有志のバンドによる演奏も行われ、大盛況に終わりました。

2日目のラウンドトークでは、テーマを初日の「過去・現在」から「現在・未来—足元から世界へ・世界から足元へ 今地球市民として」とし、リサイクルの問題や人権問題に至るまで、様々な観点から日本を、世界を考えさせられるトークが展開されました。

今回は開催地が奈良であったので、夜にはライトアップされた五重塔を見学したり、2日目のオプションツアーとして、奈良町を散策したりと、奈良ならではの味が存分ににじみ出たブロック大会でした。



オリエンテーション

日差しの強い梅雨の晴れ間、大阪府より選出された平成9年度総務庁国際交流事業派遣者を対象にしたオリエンテーションが7月6日(日)大阪府青少年会館で行われました。近畿ブロック大会が前日から奈良で行われており、日曜午後のオプション

ツアー終了後、大阪からの参加者(会員と本年度派遣者数名)は森ノ宮へ移動した。大会に参加できなかった派遣者も加わり16名中9名が出席し、東京での事前研修を前にその心得、事業の説明などそれぞれの事業に分かれ、既参加青年からの話に熱心に耳を傾けていた。 岡本光市

第18回近畿青年洋上大学 総合事前研修

森脇裕美子

6月28日、台風8号が日本列島を横断した。第18回近畿青年洋上大学の総合事前研修が兵庫県立嬉野台生涯学習センターで行われたのは、そんな折だった。

6月27日、晴天の中、学生と呼ばれる参加者達は、何台もバスを連ねてやって来て、2泊3日の研修は始まった。スタッフや私達リーダーは前日から泊り込み、気持ちと頭を準備させていた。

台風8号の襲来は2日目、丸々1日を使おうという日。私達の宿舎は、10棟の屋外宿泊棟。2つずつ5組の独立した建物で、どこへ行くにも一度外に出なければならず、朝から強風にあおられ、雨にたたかれながらの移動が続いた。いつから警報が出ていたのかわかる

由もないが、台風が真上を通過するというので、夜のプログラムは98%まで変更された。屋内で行われる筈だったグループファイヤーは狭い室内で、皆、正面を向いてのキャンドルサービスとなり、夜9時以降は各自の宿舎内に缶詰ということになった。ようやく各班(16ある)の雰囲気打ち解け始め、今回の研修の中で1番のクライマックスになったであろう時間が吹き飛んでしまった。

翌日は台風一過、良い天気になったが、その好天を味わう余裕ができた時には大阪府からの参加者は、大阪城公園脇で解散していたのであった。

という訳で、スケジュールぎっしりの事前研修は何とか無事終了しました。台風のせいで悔しい思いをした反面、台風のおかげで様々な問題が露呈し、船に乗る前にわかってよかったと、胸をなでおろしたのでした。本研修(8月13日から)が好天に恵まれ、有意義なものになりますよう、どうぞお祈りください。

平成9年度事業参加メンバー紹介

大阪IYEOから育成交流事業に団長として酒井洋幸氏(ジョルダン)、副団長として藤本和子(ジョルダン)・大野智代(ドイツ)さんが参加されます。

| | | | | | |
|-------|-----------------|-------|----------|-------|-----------|
| 北端キク子 | 国際青年育成交流・ネパール | 岡田 秀之 | 日韓青年親善交流 | 洲上 晶代 | 世界青年の船 |
| 木下 晶恵 | 国際青年育成交流・インドネシア | 月岡 大介 | 日中青年親善交流 | 奥本 春江 | 世界青年の船 |
| 宗方 由紀 | 国際青年育成交流・ブラジル | 木戸 稔子 | 世界青年の船 | 植田 健太 | 世界青年の船 |
| 高木 貞治 | 国際青年育成交流・ブラジル | 吉川由里子 | 世界青年の船 | 藤原 千尋 | 東南アジア青年の船 |
| 塚本 英樹 | 国際青年育成交流・ドイツ | 堤 梨佳 | 世界青年の船 | 濱田 博晃 | 東南アジア青年の船 |
| 宮下 健一 | 日韓青年親善交流 (渉外) | | | | |

ジョルダン派遣団とともに…

酒井 洋幸

ジョルダン国…聞いたことがありますか。外務省では英語表記を忠実に訳し、私たちが従来慣れ親しんだ国名「ヨルダン」を最近では「ジョルダン」としています。

そうです「ジョルダン」とは「ヨルダン」のことなんです。

とはいうものの、何処にあるの?という疑問はまだ残ります。場所は…中東、サウジアラビアの北、イスラエルの東、と言えば、何となくイメージが湧くでしょうか。

そのジョルダン派遣団の団長として若い皆さんとともに、約3週間の派遣に臨むことになりました。

実は、自らの派遣体験は30年前に逆上ります。その30周年の集いが5月にあり、当時の団長・副団長をはじめ12人が滋賀に集まったばかりで、その集い後しばらくして団長の話の頂きました。そんな意味で、その派遣での団長の立場、その時の団長さんのこ

となど思い浮かべながら、何となく感無量といった気持ちになっています。同時に、その責任の大きさも痛感しているところです。

しかしながら、生来の楽天性格…いただいたチャンスを精一杯努めるとともに、はじめて訪問するヨルダンを大いに楽しんできたいと思っています。

そのために、!団員の視点に立ったプログラム作りを心掛ける。"事前調整をするのに当たれるところはすべてあたる。#気持ちは謙虚に、行動は強引に!をモットーに、出発までは行動し\$今年のジョルダン派遣団は、こんな特徴を持っていますよ。といったことを言えるようにしておきたいと思っています。また、派遣後は、こんな活動をしてきた!と胸を張って報告が出来たらいいな?と念じているところです。では行ってきます。



3度のリユニオンに参加して

第7回世界青年の船参加 土肥 訓子

先日メキシコのアカブルコで行われた世界青年の船リユニオンに参加してきました。帰ってきてから「ええー?!ホンマに行ったん!!」と驚かれ、改めて参加した日本人を思い出して数えてみたら12人(うちアメリカ在住3人、世界旅行中2人)でした。12人もよく参加したものですよね。私もこの12人のうちの一人になれてよかった。行きたいと思っけていても実際に行ける人はそう多くありませんから。

このリユニオンでこれからの同窓会組織についての話や来年世界青年の船が第10回を迎えるにあたっての記念行事の案などをにっぽん丸の上で出しました。

今年に入ってから、東京に続いてコスタ・リカで行われたリユニオンにも参加したのでリユニオンはメキシコが3度目でしたが、このメキシコではにっぽん丸でのディナー、お風呂、洗濯、パーティーも行われ、懐かしの曲にあわせてダンスしたりおしゃべりをして楽しみました。また、わずかでしたがキャビンのベッドでねむることもでき、そしてみんなと楽しく過ごしているとずっとそこで生活しているような気になり2年前にタイム・スリップしていたようです。しかし、出発は前回とは違いました。にっぽん

丸側から下船した外国人参加青年と別れなければいけないということがなく、第9回の外国人参加青年といっしょに私たちリユニオンで集まった既参加青年たちはみんないっしょにアカブルコからにっぽん丸を見送りました。そうやってにっぽん丸を見送っているとみんながとても身近に感じられ、これからも大切にしていきたいという気持ちになりました。

このリユニオンに参加するまではみんなちゃんと話ができるか、知らない人ばかりだったらどうしよう…などいろいろ心配したけれど、実際に行ってみてずっと連絡を取り合ってなくても、全く話したことがなくても、もっといえば、参加した年が違う人でもにっぽん丸で同じように過ごしたというだけで彼等は暖かく受け入れてくれました。

聞いてほしいことがあればいつでも話をすればいい。会いたくなったらいつでも会いに行くこともできる。まだまだみんなのことを知らないし、私のことだってもっと知ってほしい。そんなことを考えていると、実際は速くに離れて暮らしている彼等が少し近くなったような気がしました。

…終わってない。ああ、やっぱり私の世界青年の船はまだまだ続いているんだ!修了書を手にしても終わりじゃない。きっと始まりだったんだ。楽しいのはこれから!

政令指定都市も参加

近畿ブロック幹事 焼野嘉津人

YEOの活動をより各府県行政担当部局と連携を深め、相互理解のもと充実を図ろうと、毎回ブロック大会には行政ご担当者にも参加いただいていたのですが、今回から初めて政令指定都市にも参加いただくことになりました。大阪市、京都市、神戸市ではほぼ毎年受入事業を行っていますが、まだまだIYEOとの連携がとれているとはいえません。今回をきっかけとして相互理解を深め、積極的な連携を図っていければと考えています。



アンケートにご協力を!

目標100%回収!

みなさ～ん、こんにちは!
いつも「みおつくし」を読んでくださってありがとうございます!!
と思っているのは私だけで、もしかしたらこの「みおつくし」を読まないでゴミ箱へばいっ!なんて方も結構いらっしゃるんですよね。トホホホ…。どれくらいの方が「みおつくし」を読んでいるのかしら?というようなことを聞きたいのと、総務庁からの事後活動調査の依頼とが重なり、とうとう「アンケート調査」を実施することになりました。ま、お気軽にお答えください。

さて、その総務庁からの依頼というのは、派遣事業で私たちの体験したことがいかに素晴しかったか、また、何年経った今、その時の体験や人とのつながりや感じたことがいかに影響を与え、事後活動に活かされているかを調査してほしいということなのです。その背景には、政府予算が厳しくなっており、ODA予算もまた削減を余儀なくされている実情があります。それに伴って海外派遣事業の見直しが検討されています。このことは、派遣事業の存在価値を政府に対して改めて問い直すためにも重要なことだと思います。また、このアンケートを大阪IYEOの活動方針や計画を立てる際や、より多くの方に読んでいただける「みおつくし」をつくる際の参考にさせていただくために、このアンケートを活用したいと考えています。どうぞ皆さんご協力お願いいたします。

INFORMATION BOARD

★『行ってらっしゃ～い!』 派遣事業壮行会

8月21日(木)、国際青年育成交流・東南アジア青年の船・日中及び日韓青年親善交流の壮行会を開催します。どなたでも参加できます。場所は、府立青少年会館を予定していますが、詳細及び、参加希望者は、岡本(06-975-0801)までご連絡ください。

★自然の中でHAND IN HAND

～ユースギャザリング イン オオサカ'97～

9月26日(金)～9月28日(日)、大阪府立青少年野外活動センター(能勢町)で、小中学生から高校生、青年、成人、外国人、ファミリーまで、なんと700人ものお祭り好き人間を集めてキャンプが行われます。大運動会やオリエンテーリング、ユースフォーラムなど楽しいプログラムを各種用意しています。ご家族・お友達と参加されるもよし、お一人で参加されるもよし、思い出に残る休日になること間違いなしですよ!

お申込み・お問合せは

ユースギャザリング イン オオサカ組織委員会(06-942-5146)まで

★アジア太平洋地域青年招聘事業受入

助っ人募集!

10月24日～29日、ベトナム・オーストラリア・ア・キリバスから計18名の青年がやってきます! そのプログラム中、28日に行われる文化紹介で、華道、茶道、書道、着物の着付け等日本文化を紹介・指導できる方を募集しています。

連絡先:岡本(06-975-0801)まで

★平成9年度環太平洋地域青年交流事業団

期間 10月27日(月)～11月13日(木)の18日間
派遣国 (1)アメリカ (2)インドネシア・オーストラリア
(3)タイ・ニュージーランド

参加費 300,000円

お申込み・お問合せは

ユースサービス大阪「環太平洋地域青年交流事業」係
(06-942-5146) まで

団員募集!

青春後記

9月より約3週間、育成交流事業の副団長としてドイツへ行くことになった。

ドイツには、特別の想いがある。というのは、6年ほど前、ダンナと二人で大貧乏世界旅行中、バーデン・バーデンという町に夜遅く着き、宿が見つからなくて困っていた時、アパートであ

ることを知らず、「ここは、ホテルですか?」と聞いた私達に「Are you a good person?」と尋ねた(ちなみに私は「I think so…」と答えた)だけで、独り暮らしの女性が快く泊めてくれ、翌朝には鍵まで預けていってくれた。引き留められて結局4泊もしてしまったが、ここでの5日間ですっかりリラックスし、旅の疲れをとることができた。もう一人、前にここで紹介した大親友のウースラがドイツ人であること

もあり、私は、ドイツに『縁』があるんだと感じると同時に、どうせ縁があるなら、思いっきりかわりたいという気になっている。ドイツから学ぶことは数多くある。同じ敗戦国として、また先進国として。私の派遣テーマは、「みんなが幸せになるために」- 共生の道を探る手掛かりを「ものけ姫(ばば?)」になったつもりで探して来たい。

Oh! No!